



高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策【国土交通省】

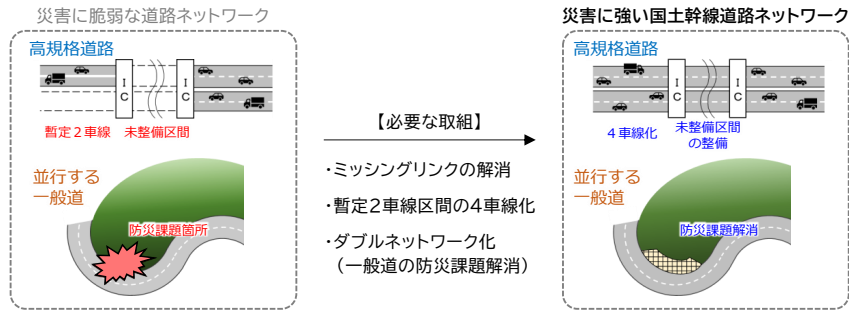
施策概要

高規格道路の未整備区間の解消及び暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を推進

効果

道路ネットワークの機能強化が図られ、速やかな復旧・復興に寄与

全国的な対策と効果



- 【実施内容】**
- 高規格道路のミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化
 - 高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を推進
 - 発災後概ね1日以内に緊急車両の通行を確保し、概ね1週間以内に一般車両の通行を確保することを目標として、**災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能を確保する**

高規格道路のミッシングリンクについて、約60区間を改善等（未整備区間の改善※：357km、解消：101km）

令和3～6年度に未整備区間が解消した区間		
① 東北中央自動車道	相馬IC ～ 桑折JCT	10km
② 中部横断自動車道	新清水JCT ～ 双葉JCT	14km
③ 近畿自動車道伊勢線	名古屋西JCT ～ 飛鳥JCT	12km
④ 中国横断自動車道姫路鳥取線	播磨JCT ～ 宍粟JCT	12km
⑤ 三陸北縦貫道路	全線	31km
⑥ 黒崎道路	全線	1km
⑦ 名豊道路	全線	9km
⑧ 都城志布志道路	全線	12km

※未整備区間の改善・・・区間内の一部でも供用した区間

黒崎道路【令和4年度開通】



都城志布志道路【令和6年度開通】

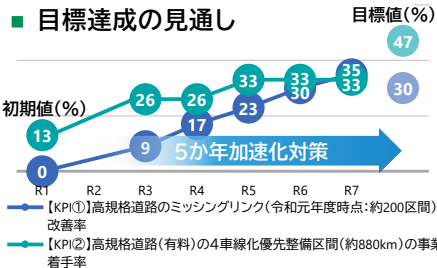


■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
3,227億円	2,179億円	2,134億円
R6	R7	累計
2,443億円	1,894億円	1兆1,876億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

■ 目標達成の見通し



整備事例

高規格道路の整備により、災害に強い国土幹線道路ネットワークを構築する



国土交通省 四国地方整備局
中村河川国道事務所



高知県高岡郡
四万十町～四万十市

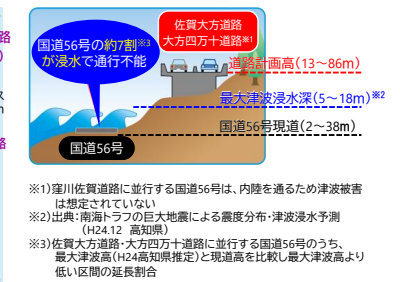


四国横断自動車道
阿南四万十線
(四万十町中央～四万十間)

■ 位置図



■ 断面図



四国横断自動車道 阿南四万十線(四万十町中央～四万十間)は、四国4県を8の字で結ぶ「四国8の字ネットワーク」を構成します。

■ 事業費

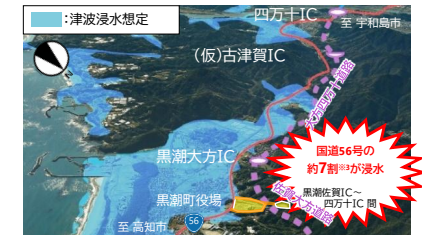
1,772億円※4 (うち5か年加速化対策(加速化・深化分) 52億円)

※4) 片坂バイパスは含まない

■ 事業の背景(地域の課題)

四国横断自動車道に並行する国道56号は、南海トラフ地震による津波浸水が想定されており、黒潮佐賀IC～四万十IC間の約7割の区間が浸水で通行不能となります。

地域では、津波浸水を受けない四万十IC付近に防災拠点の集約を図るなどの防災機能向上の取り組みが行われており、緊急輸送道路の機能の確保が課題となっています。



■ 事業の内容

四国横断自動車道 阿南四万十線 四万十町中央～四万十間(事業延長33.1km)において、南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の輸送を支える「命の道」として機能するよう津波浸水避けつつ、防災拠点や四万十市中心部を連絡する高規格道路を整備しています。

■ 見込まれる効果

並行する国道56号は、南海トラフ地震に伴う津波浸水が想定されており、黒潮佐賀IC～四万十IC間の約7割の区間が浸水で通行不能となります。本道路を整備することで、津波に対して十分な高さを確保し、大規模災害時に安心・安全で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図ります。

(1) 人命・財産の被害最小化

(2) 交通・ライフラインの維持

2

インフラの老朽化対策

(1)

施策のデジタル化

(2)

災害関連情報の高度化

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

3

国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進